

売上高16%増
増収減益に

ハルナグループ
3月期連結決算

清涼飲料水メーカーのハルナグループ（高崎市足門町、青木麻生CEO）が14日発表した2023年3月期連結決算は、売上高が前期比16%増の293億1800万円、過去最高だった。純利益は9%減の2億6100万円、増収減益となった。

人流の増加で消費が回復し、販売数量は過去最高を記録したが、原材料やエネ

ルギー価格の高騰が利益を押し下げた。営業利益は15%減の5億300万円、経常利益は15%減の4億2700万円だった。

今後成長が見込まれるミネラルウォーター事業の強化として、同事業を展開していた長野県の2工場を、ハルナビバレッジの完全子会社ハルナウォーターが譲り受け、7月から事業を開始することを発表。24年3月期は過去最高となる売上高300億円、営業利益6億円を見込む。